サ イ Gokouwa1.jpg \mathcal{O} 御 教 え サ 謙 1 虚 大 さ 学 は 教育 \mathcal{O} 学 生 \mathcal{O} に 証 向 け た

を

得

てスワミを喜ばせたい、

とい

う

唯

0)

目

的

を

持

0

理

想

に

適うよう努力

して、

人

生

に

お

1

て

高

尚

な

地

位

ほ

と

んどい

ま

せ

ん。

本

校

の学

生

0)

大

多

数

は

ス

ワミ

学

位

を

取

得するという目

的

だけでここに

来る学

生

は

も、この点に

関し

て

私

た

5

 \mathcal{O}

教

育

機

関

は

例

外

で

す

学

位

を

取

得することに

L

か

関

心

が

あ

ŋ

ま

せ

ん。

け

れ

森 羅 万 象 は 真 理 より生じ、 真 理 に 帰 融 する ?

御

講

話

す ま な さ この L 皆 愛 \mathcal{O} た。 1 \mathcal{O} さ 純 宇 カゝ 化 W 謙 ま 粋 宙 は 身 ず、 昨 虚 で に た 教 **今**の さと人 汚 真 5 育 教 理 れ ょ を 学 育 な \mathcal{O} ! 求 \mathcal{O} き 存 生 格 めてこの教 学 真 真 在 は は 生 0 理 L 教 謙 諸 意 を ない 育 虚 君 味 心 を身 さ 場 を に 育 を 所 思 理 機 身 に などあろう 1 解 関 に 付 描 、テル す に 付 け きなさい るよ 入学して け た グ L ま 語 う るし せ カュ \mathcal{O} 努 λ 詩

き

てここに来ます。本校の学生は善行をすることで両

親を幸福にしています。

真 0 教 育 とは 何 を 意 味 す る カュ を 理 解 L な さい

学生諸君!

教育というものは、ただ学位を取得することでは

V

ありません。

おお、人よ!

自分でよく考え、調べてみるがよい

夜 明 け カュ 5 日 暮 れ まで、 神 を忘れて 知 識 を 蓄 え

富を稼ぐことにすべての時を費やして

いったいどれほど大きな幸福を得たというのか

(テルグ語の詩)

ある人は、文学士や文学修士といった

高い学歴を手に入れ

高い地位に就くかもしれな

ある人は、富を蓄え、慈善活動を行い、

名声と評判を手に入れるかもしれない

ある人は、体力に恵まれ、

健康な長寿を楽しむかもしれな

あ る 人 は、 ヴ エ 1 ダ を学び ヴ Ī ダ を 解 説 す ź

偉大な学者であるかもしれない

L カゝ L 誰 人、 神 0 真 \mathcal{O} 帰 依者 と言 え る 者 は 11 な

(テルグ語の詩)

きで 詰 < に 1 入 う さ ک れてしまえば まっていたら、 教 す。 0 ŧ λ 養 教 \mathcal{O} \mathcal{O} \mathcal{O} そ あ 育 \mathcal{O} 知 る 機 れ 価 識 人 5 関 値 が لح \mathcal{O} 0 書 لح 何 本を 正 呼 側 1 真 \mathcal{O} 門 て ば 役に立つでしょう? 面 \mathcal{O} 調べる必 あ れ をくぐったので 意 を ることができます。 ŋ 理 味 ます 解 を 要は して 理 が 解 初 なく L 頭 め ようと努 あ に て皆 な れ 泥 り 知 ば が さ ま 識 本 1 す。 教 を に W め 0 は は 育 頭 ぱ る た 真 12

す。 す 1 て 大人たちは自 尋 現 大人たち 代 ね 0 て、 学 は 生は大人か つも子 子 分 供 の子 が 供 教 供 0 育 5 0 進 機 0 教 歩 関で学 質 育 を 間 に 観 に 関 察 んでいることに 無 心 しているべきで 礼 を持つべきで な態 度で 返

7 答 1 L ま ま す。 す 0 学 生 た ち は 大 人 た ち を П 八 丁 で 木 惑 さ せ

す な う ŧ 声 根 \mathcal{O} لح ŧ な 学 元 0 で ŧ 12 威 生 す で \mathcal{O} は 水 信 す。 で を 社 を す 様 与 守 会で 信 々 る え 美 仰 な べ 良 れ 徳 は 教 き V ば 根 は 科 で 評 大 \mathcal{O} は 至 す 判 ょ 木 そ 福 を う に 0 教 とい 得 な 咲 大 育 て、 ŧ < う 木 機 0 カゝ 果 \mathcal{O} 関 自 で <" 実 大 は 分 す わ を 枝 \mathcal{O} 大 L 手 B 学 信 木 1 に び 仰 \mathcal{O} 花 小 لح ょ 舎 入 枝 \mathcal{O} う れ 1 ょ \mathcal{O} \mathcal{O} う Š ま ょ な 名

知 カュ 姉 る は 非 だ さ 0 妹 人 常 現 け 成 格 を に لح 在 就 で で 養 重 見 す。 は 要で あ わ な لح あ 5 な さ 導 ŋ 人 ゆ あ け な きま ま 格 る れ け ると感 せ は 教 ば ħ す ん。 善 育 1 ば 良 け 1 U 機 人 な ま け 始 関 は 行 せ ま 8 が 人 1 ん せ て 類 0 を 学 V W そ 同 す ま 生 れ 胞 ること す 人 に は は を لح 最 教 感 自 0 を て 終 情 分 育 的 意 \mathcal{O} 人 \mathcal{O} \mathcal{O} に 兄 味 目 格 清 英 5 弟 す 的 は

教 育 機 関 は 有 徳 \mathcal{O} 男 女 を 生 4 出 す ベ き

本 校 \mathcal{O} 学 生 は 非 常 に 高 徳 で す 0 本 校 \mathcal{O} 学 生 は 私

 \mathcal{O}

Engineering)を受 1 要 \mathcal{O} 財 工 な 財 産 تلح 産 で 学 あ あ を 系 ŋ る 持 \mathcal{O} って と、 ま 資 す 1 格 私 カュ るの 験 は 試 ? 繰 L 験 で た 学 私 ŋ す は 返 Graduate か 生たちに G L 5 A T 述 べ 私 Е て が 試 Aptitude 7 尋 何 ま 験 ね カ す まし 難 心 0 易 配 そ た。 Test す 度 れ る \mathcal{O} ほ تلح 高 必

愛しい皆さん! 試験はどうでしたか?」

学生たちは言いました。

で 1 ま に た す ま 適 L 0 スワミ、 です す。 た。 0 た 学 スワミの 生 カゝ 生 活 5 あ はスワミの をし な 私 学生 た て、 た \mathcal{O} 5 となる 恩 母 \mathcal{O} 財 竉 校 唯 産 لح に 機 で 祝 良 0 あるとスワミは 会 1 福 目 を 評 \mathcal{O} 的 得 判 お は る を カ 祝 ŧ げ ス ワ 福 た で 5 3 ょ に お す 0 < 恵 理 で ま し 想 き れ ¢

る が 女 知 L で た。 が 0 る 私 き は と、 い は 本 る な 学 こう 校 で け 励 生 しょう にこのよ 4 n た ば に ち た なり 0 高 世 返 う 潔 界 ま 答 な な す。 は に 学 理 ど 大 う 想 生 玉 変 Þ \mathcal{O} \mathcal{O} 家 満 学 って お が 足 か 生 繁 光 げ たち L 栄 を で L 深 輝 す が < カュ 進 V 感 有 ること せ 歩 徳 動 ること し 0 L 7 男 ま

本 校 0 学 生 は \Box 先 だ け 0 美 辞 麗 句 に 耽さ ること は あ

な \mathcal{O} り 誠 ま 教 実 せ 育 ん。 さ を は 伝 本 私 え 校 を の学 幸 美 せ 生た 徳 に を L ち 教 ま ĺ え す 行 込 動 む 私 \mathcal{O} た は 人です。 8 学 に 降 生 に 学 臨 理 L 生 想 ま た 5 L 的

た

愚 教 養 か と な 者 知 は 性 本 が 当 あ 0 って 自 分 を 知 ŋ 得 な

心 \mathcal{O} 卑 L 1 者 は 自 5 \mathcal{O} 悪 1 性 質 を 手 放 ż な

(テ ル グ 語 0 詩

え

西

本

 \mathcal{O}

現 代 0 教 育 は、 ただ 議 論 ر ک 導 < 0 み で、

完 全 な 英 知 へ導 くことが な

不 滅 \mathcal{O} 命 へ と 導くことの できな 1 教 育 を 身 に 付 け 7

何 \mathcal{O} 役 に <u>\f</u> つの カゝ

あ な た を 永 遠 不 滅 に さ せ る 知 識 を 手に 入 れ ょ

クテ ル グ 語 \mathcal{O} 詩

は そ 本 0 あ 他 校 な \mathcal{O} \mathcal{O} た 学 ŧ が 生 \mathcal{O} S たち は لح す た べて手に 0 び 心 真 に 我 刻 \mathcal{O} 入り み 知 込まれ 識 ま を す。 獲 てい この 得 L ま 英 さ す。 え 知 す \mathcal{O} 言 れ 葉 ば

> 愛 \mathcal{O} 化 身 た ちよ ! 学 生 諸 君 !

大 値 まし 知 校 を 皆 カュ 拍 性 \mathcal{O} 証 さ 手) た 南 学 لح 明 W カン 生 振 し は 北 た 何 る G A T E G ち 舞 カン + A T E が 1 を 万 に 知 人という学 \mathcal{O} Ŀ 深 り 試 試 0 11 た 験 地 験 感 が で 官 域 銘 り 優 たち \mathcal{O} を ま 生 秀 出 受け L が は な 身 た。 成 1 者で ま る 本 績 学 L 中 ある 校 を た。 生 で \mathcal{O} 収 学 た 自 そし か 8 5 生 分 ま た は 東 L \mathcal{O} 7 た。 答 5 か 価

 \mathcal{O} で 学 ŧ 生で 教 あ 官、 り す ま 私 せ たち ん。 は 私 東 た ち 西 は 南 シュ 北 IJ تخ \mathcal{O} サ 地 テ 域 イ カゴ Y ら サ き イ た 大 わ け

て 活 本 1 校 を 所 本 ま 校 送っているの 0) 懸 せ 学 命 \mathcal{O} ん。 学 生 に が 生 努 ŧ 母 た め っと を 校 て ち 0 ŧ は 目 1 理 ま うと に す。 自 す 想 多 を るでしょう。 分 皆 < 広 \mathcal{O} さ 達 \otimes \mathcal{O} る 栄 λ 成 ょ が 誉 L う どこへ行って を たこと な ŧ 模 たら に 範 そ 満 的 う 足 な ŧ 生 L

学 事 生 が あ た る 好 5 とき、 4 は か 声 菜 本 をそろえて答 食 校 か \mathcal{O} 非 学 菜 生 食 た え カュ ち ま を に、 L 尋 た。 どう ね た 人 V が う V 種 まし 類 \mathcal{O} 食

ま す 菜 で 食 で す な か ら 食 私 事 は た 悪 5 は 1 思 決 7 L لح て 悪 菜 1 食 感 で 情 な を 1 食 生 事 4 に 出 は L

食 で 本 な 校 1 \mathcal{O} 食 学 事 生 を は て \bigcirc 7 \bigcirc た 学 % ベジタリアンで 生でさえ、 本 す 校 に 以

L

入

学

す

前

は

菜

手

を

触

れ

ま

せ

 λ

る とす ぐ に 菜 食 に な り ま L た。 あ るとき 学 生 \mathcal{O}

「たくさん 栄 養 素 が 含 ま れ 7 7 る カン 5

人に、

変 4 た えませんでした。 人 言って、 が 1 ま 菜 L 食で た。 その学 な L か 1 L 食 生 ベ そ 物 は 0 言 を 学 1 食 ま へべるよ 生 L は た。 自 う 分 説 \mathcal{O} 得 姿 勢 を 試 を

長 と ん せ ぱ ん。 0) 願 「そのようなビタミンやた ってい < 助 菜 質 け 食 が に ま に 含 な す ŧ ま り が 私 れ ま が てい せ 菜 必 ん。 食でない ま 要とす す。 私 は λ 私 る 世 ぱ 食 は あ 間 < ベ 真 5 \mathcal{O} 物 質 理 ゆ 教 は は \mathcal{O} るビタミンとた 育 少 欲 道 L と を歩 L ŧ < 霊 緒 あ み 的 に ŋ た 成 ま 霊

1 る こ の 学 ように、 生 は 大 勢 サ 1 1 ま \mathcal{O} す 理 0 想 本 を 校 広 が \Diamond 世 る 界 ため 的 な に 名 固 声 1 を 決 博 意 L で た

1

と

思ってい

ま

す

的

な

教

育

ŧ

身

に

付

け

て、

世

 \mathcal{O}

中

に

霊

的

な

教

育

を

広

8

て 1 る 0 は、 こうし た 高 潔 な 学 生 た 5 0 お カゝ げ で す。

幼 小 時 カゝ 5 直 ち に 健 康 的 な 習 慣 を 身 に 付 け ょ

L カン て、 5 学 直 生 次の 5 た に 5 よう 良 は 1 な 習 健 詩 慣 康 が لح を あ 幸 身 ŋ に 福 ま 付 を す。 け 味 るべ わ うた きで め す に 幼 年 れ 時 に 関 代

雄鶏 が 鳴 < 早 朝 に 起

朝 \mathcal{O} 禊され 0 \mathcal{O} 5 に、 お 風 呂 に 入 り

き ち λ と L た 服 を 着 7

き ち W کے 食 べ、 カュ つ腹 八 分 目 に

良 1 評 判 を 得 な さ

学

校

に

行って、

L

0

か

n

勉

強

なさ

雨 \mathcal{O} 日 に は 歩 き 口 5 ず

水 0 濁 0 た 貯 水 池 に は 決 して 近 づ 1 7 は な り ま せ W

運 動 \mathcal{O} 試 合 に 参 加 L て、 走 り、 競 技 L な さ

ŧ 以 上 \mathcal{O} 規 律 をすべて守 る な 5

健 康 と 富 \mathcal{O} 両 方 に 恵 ま れることでしょう

、テル グ 語 \mathcal{O} 詩

学 生 母 ほ る と が た を 関 両 食 どで と は 菜 期 \mathcal{O} 守 親 生 で 親 L っつて そ で 7 な は 食 食 待 に が す。 あ 11 \mathcal{O} は 説 事 で さ 菜 1 菜 れ 料 習 明 な れ に 食 ま 本 食 ば 鳥 理 慣 L 手 1 る で す 校 で B を ま を \mathcal{O} をつ 食 な 食 \mathcal{O} な で 野 出 B 事 1 学 人 ベ 1 た は け 獣 さ 8 を 食 物 間 生 食 あ な B ることを ま 事 L に が と ŋ す。 1 て 動 を 関 L 物 学 で ま 1 出 7 物 す を 校 ほ た せ 子 そ る 生 た 摂と 0 L 学 W 供 拒 5 う ま 正 ることに 休 1 カン \mathcal{O} 生 み、 ع で n L لح み ? 変 た す V L に 頼 母 容 ち 教 規 5 幼 ま 帰 4 親 ょ は ŧ 育 律 小 L 省 ま に る 両 を に た。 時 したと L 今 悪 本 親 身 定 従 た。 カン 後 校 影 そ が に \mathcal{O} うこと 5 響 き、 は \mathcal{O} 驚 に 付 規 そ ず 学 菜 を < 入 け 則 \mathcal{O} 0

事 7 7 で 気 1 お を 例 菜 ま 引 食 が う す き で 報 が、 そ な 起 告 バ \mathcal{O} ک 1 さ 結 L 食 ラ れ 果、 ガ ま ベ タ て す。 物 ポ 7 V は ま < ンド) 皆 ル す 0 癌が で さ カュ は を \mathcal{O} W 人 \mathcal{O} ほ は 有 ŧ 様 々 とんど じ 害 雑 が 々 \Diamond 誌 な 病 な と 微 B 地 気 0 す 新 生 域 12 人 る 物 聞 で が カン 様 ŧ に で か 魚 Þ 感 読 る 同 を な 染 様 W \mathcal{O} 食 だ 病 は L \mathcal{O} べ

> 塊 かいけい 11 1 ま 体 復 康 ま す 食 に す を す ベ ょ ることはできないで 損 類 物 菜 が < な を を 食 な 食べて って 実 食 で 1 な 際 L 食 る に 1 事 まった 過 と は 食 ごごし \mathcal{O} 力 べ せ 物 菜 が 5 1 たとし L を 食 0 で ょ < す。 \Box で 残 う。 。 と な に り て す 1 多 11 0 ŧ ることでひ う < 食 人 誤 \mathcal{O} 生 決 物 0 人 を L た は は 7 森 人 認 健 で لح を 菜 識 康 果 た 弱 食 を 物 び を で < L لح 健 口 7 な

学

生

は

食

漝

慣

 \mathcal{O}

制

限

を

実

践

す

べ

きです。

このことに

べ 聖 \mathcal{O} な た ぼ バ か 多 たときに 人 衆 物] け ち す で 5 通 < に Þ 以 は れ \mathcal{O} は ラ 浄 ŋ は と 影 上 体 タ に て 人 完 性 ば 食 響 は 神 な 返 は 人 が 習 \mathcal{O} ŧ 全 に 聖 肉 ŋ 学 幸 け 7 食 大 L 慣 関 なベジタ で でで ま た き 物 福 生 な を す な ンド す。 答えです。 V を で た な ょ る 11 き \mathcal{O} 5 り 摂 健 影 思 自 人 て で 人 IJ 良 取 康 が 考 響 覚 11 す アンに 間 V L 的 \mathcal{O} 食 を が ま を カン は ŧ な 間 習 な 生 す 高 与 本 ? 心 \mathcal{O} け じ に 生 慣 ま え、 校 な \mathcal{O} に れ さ ŧ, そ な 0 活 に \mathcal{O} 通 り 変 7 ば ぜ せ う を そ 学 0 ま ŋ えつつ 1 11 人 1 ま L 肉 送 れ 生 に け L ま \mathcal{O} て す。 に た のこ る に た。 な す。 ま 心 0 再 神 た ょ あ 1) せ 質 に び 0 聖 ŋ \Diamond 心 ŋ ま そ ん。 間 食 肉 説 で ま 12 す は \mathcal{O} 物 を を 聴 明 な 最 は 食 す た 受 与 が で は 衆 ベ 8 近 及 神 食 私 す 物 聴 け \mathcal{O}

学生諸君!

身 \mathcal{O} 体 期 ま 試 的 せ に と 食 習 合 精 に λ 付 ス 慣 に 神 け 良 ポ 参 \mathcal{O} に n 1 力 加 関 ば 習 ツ \mathcal{O} L す Þ 慣 開 人 な る t 試 生 さい 花 規 合 身 \mathcal{O} で 則 12 に 助 高 を 付 参 け 健 貴 守 け と 加 全 な るだけでは なけ な L な 地 な るそういっ 食べ 位 ゖ れ に ば 物 れ 就 ば 1 と + くことで け 7 良 分で たス ま け 7 ま せ 習 は ポ せ W 慣 あ 1 ん。 定 を ツ り ょ

純金である愛しい学生諸君!

う

す 葉 あ \mathcal{O} 気 奥 持 で n 実 そ す。 深 S 5 に れ ľ を れ で ところ 皆 皆 た 言 ŧ も の さ さ 1 な 表 W W か お、 で すことは は は 5 は 神 純 悪 話を あ 聖 金 1 り \mathcal{O} な 仲 L ま 不可 ょ 間 気 ま せ う カコ 持 す。 ん。 能 で 5 5 です。 す。 で 皆 は そ 離 さ 生 れ 皆 れ ん 活 は 皆さんは てい さ \mathcal{O} を ア W 語 送] なさい 0 る言 つって 1 神 7 聖 1 \mathcal{O} 葉 ま 言 は 1 な

「人は仲間の通りになる」

どん

な人

か

を

言

1

当てま

しょう」

あ

な

た

 \mathcal{O}

仲

間

を

教

え

な

ż

V)

そ

う

す

れ

ば

あ

なたが

こと す 優 に り 人 共 るでしょう。 は L な に L を て さ < あ 1 言 は 楽 な な わ 穏 な さい。 たを L れ B 辛ん り 4 て か 辣島 ま 敵 1 に 善 ま Ŀ な せ \mathcal{O} 話 す。 良 れ ように扱 言 λ す な ほど長 葉 な ŧ で 言 لح ら、 す 葉 神 不 カン うでし 聖で を 7 人は ら、 親 時 話 切 間 な す あ 1 ンよう。 な で な 1 人 0 ŧ 言 言 t た た 葉 善 あ 葉 と ŧ 5 を な 良 は \mathcal{O} L た 使 決 仲 な あ 緒 کے う 仲 な L 間 に 話 な た て 間 で 11 を が ら \Box あ لح

な 誰 払 ŋ 6 た う \mathcal{O} 嫌 か 人 논 _ 5 \mathcal{O} ょ あ な 思 う 5 臭 ŧ 愛 考 に 1 緒にいるときには、 ゆ さ لح L る が な 方 れ 言 L てい ż 法 るでし 葉 \ \ \ で、 لح な 行 1 あ 自 ょ う。 。 1 カゝ な 分 が を たの 0 純 確 自 健 粋 体 か 分 康 で が 8 0 に あ 体 清 な き さ れ が 潔 5 1 ば 清 で λ 潔 健 と あ 可 康 カゝ 注 能 な で、 た 意 な \Box 限 あ を カン

学生諸君!

と L 恥 が ず なさい。 どこへ行って でき か L < ま そうし す。 ない、 ŧ V て 歓 0 あ 初 ŧ 迎 5 \Diamond さ 口 ゆ て を ħ る あ 清 る 点 な 人 潔 たは に 間 に お で 保 人 V って て、 \mathcal{O} ること 尊 V 人 敬 な を 前 さい を 確 に 得 るこ 実 出 \Box に 7 は 題 規 \mathcal{O} ま な ŋ 臭 康 さ す う \ \ • とす あ が \Box せ を ぐ た ま は 則 0 ŋ を 享 に な λ せ 様 的 \Box ま さ 受 るで \Box 1 が W 歯 に Þ を カュ せ \mathcal{O} を わ な 歯 することができるでし さ は 床 5 W \Box 磨 病 B を その わ 嫌 に ょ 臭 き、 気 カュ 磨 う。 就 P な は で を 1 ためです。 臭い カュ < そ 清 他 て 引き起こし で で 前 \mathcal{O} V) れ 潔 す 清 が 人 に ま か に カン L 潔 たち は 5 す 保 たら、 ら、 、 な 舌の 歯 0 私 状 に 私 ため を 朝 ま には 態 磨 ょ 迷 に す。 全 人 う。 に に 何 き 寝 惑 どこ 面 は 保 ま そ を 床 を あ って 私 0 ŧ す き か な れ か は 0 健 定 れ 5 た だ け 痛 1 夜 私 康 \mathcal{O} を 7 起 ま け れ 1 は ŧ 間 ところ に き 避 で 上 す ば 眠 \mathcal{O} 隔 自 L た け は 間 で 分 ŋ 健 な 5 ょ あ あ

今で は が ょ 生 ŧ た で とて う 歯 そ ち ŧ ĺZ き \mathcal{O} とて \mathcal{O} ŧ ま は 間 結 な 柔 畏 す に 果、 ŧ さ 食べ 敬 5 丈 私 1 لح カゝ 歯 物 夫 \mathcal{O} 1 驚 茎 硬 な 歯 \mathcal{O} 身 嘆 カュ 1 滓が残ってい 0 ブラシ 体 \mathcal{O} 歯 5 で、 念 的 ブ 血. に な 檳圾 ラシで が を 打 力 榔った 出 使って た を 0 るように れ ない 目 歯 実 ま に を を 1 す。 ょ す 磨 噛 ま う る < す な W o 気 لح り で 人 私 を 割 ま が 私 0 ること \mathcal{O} 1 す \mathcal{O} 0 ま け 歯 学 私 す る は

学生諸君!

\ \ ° す。 保 繁 きで 中 か L な ず 期 意 て で な 勉 0 に L カゝ 間 健 そして、 た 勉 教 気 は な き 強 中 しいことです。 康 め 強 あ け 持 えていることです。 る は を に す 学 ち り れ 害 状 何 適 ま ば で る 生 L \mathcal{O} 態 教 度 床 せ 1 0 た 役 7 \mathcal{O} 科 な けませ は 5 ん。 自 に に と 書 ょ 運 就 は きに ŧ 分 で 0 ک L 動 き 夜 <u>\frac{1}{2}</u> \mathcal{O} す 前 λ れ なさい。 な やジョギングをし 遅 5 身 だ か で は さ 朝 を < ら、 ま 居 人は け 私 1 まで 早く 医 せ 眠 勉 が 各 者 ん。 決 本 ŋ .. 学 心 強 起き、 勉 自 0 を L は が す 生 眠 手 て 強 脇 L は る た < に 自 して 他 てい に 0 ょ 5 身 なっ 委 なさ 分 5 人 置 うに に 体 起 \mathcal{O} ね つとし \overline{V} ま 12 た て、 す。 きて を か 健 る V 依 5 L な 健 康 0 存 な 穏 無 り そ 試 は 7 に 1 康 す 集 P 理 W ま 験 に 頻 注 恥 べ

ŧ お お 人 神 ょ に ! 敬 意 身 を に 表 付 け た 教 育 لح 学 識 を 誇 る な カュ れ

身 信 に 愛 付 \mathcal{O} 念 け た で 神 教 を 育 黙 は 1 想 0 すること た į, 何 0 を 役 に な 立つことか な

(テルグ語の詩

工 デュ ケ] ションとエデュ ケア は

丰 を 取 ŋ 合 わ な け れ ば 11 け な

学 生 諸 君 !

康 を保って ま ず 自 分 V \mathcal{O} な 健 け 康 ħ に ば 留 あ 意 な L たが な さ 身 V に ŧ 付 け し き た 教 5 W 育 と は 無 健

駄 に な るでし ょ う。 世 俗 \mathcal{O} 主 デュ ケ] シ 彐 ン 世 間 般

 \mathcal{O} 教 育)で 満 足していては な ŋ ま せ ん。 エ デュ ケ ア ŧ 身

に 情 付 報 け を な 集 け 8 れ ることに ば な り ま 関 せ 連 ん。 し てい エデ ま ユ ケ す が] ションは 工 デュ 外 ケ ア 側 は \mathcal{O}

内 面 \mathcal{O} 変 容 に 関 連 L てい ま す。 エ デュ ケ ア ĺ 人 間 的 価

値 を 内 側 カコ 5 開 花 さ せ るものです。 あ な た がエ デ ユ ケ

け ア た を か 身 は、 に 付 あ け な た たの か 話 単 す なるエ 言 葉で デュ 明 ケ 5] カュ ション に な り を ま 身 す。 に 付

話 れ に す 関 べ きでは L て ない つ 忠 ということです。 告 が あ り ま す。 そ 特 れ に は、 目 上 ぞ 0 W ざ 人 に V 話 に

を す る き に は 自 分 が 口 に す る 言 葉 12 注 意 L て、

あ り 0 た け \mathcal{O} 謙 虚 さ لح 尊 敬 を 込 \emptyset て 話 す × きで す。 真

 \mathcal{O}

教

養

は

教

科

書

 \mathcal{O}

知

識

に

限

0

た

ŧ

ので

は

あ

り

ま

せ

ん。

に 皆 的 留 さ 価 \otimes W 値 るべ は を 表 きでは 真 出 理 さ せ あ 正 るべきです。 Ŋ 義、 ま 平 せ 安、 λ 真 愛、 真 理 理 非 は 暴 を 行 単 動 力 に لح に 移 言 1 さ う 葉

だ

け

な

け

人

間

れ ば 11 け ま せ ん

学 生 諸 君 !

ここへ来 徳 7 最 高 水 潍 \mathcal{O} 教 育 を 身 に 付 け た 0 で あ れ ば

識 を 分 け 与 え な ż

有

 \mathcal{O}

人

生

を

送

り

な

さ

1

他

 \mathcal{O}

人

た

5

に

あ

な

た

 \mathcal{O}

知

共 に 皆 で 前 進 L ょ う

共 に 皆 で 成 長 L ょ

皆 で 寸 結 し、 知 識 を 分 か 5 合 お Š

友 情 لح 調 和 を 持 って 共 に 生 き ょ う

、テル グ 語 \mathcal{O} 詩

です。 思 あ 考 る よう れ を ۲ ر が、 抱 0 にし き、 ŧ 今 笑 日 な 善 ささ 顔 良 でい 皆 な ささ 言 て、 ん 善 葉 が 良 を 他 身 な 語 \mathcal{O} に 友 人 り 付 人とは、 た け 善 ち れ 良 \mathcal{O} ば 善 な 7 な 良 行 0 5 為 t な な を 善 友 す 良 人 で る な

となることでしょう。 想の人となり、他の人たちのインスピレーションの源泉 人のことです。そのように生活するなら、あなたは理

プラシャーンティ ニラヤムにて 二〇〇五年三月十六日

Sathya Sai Speaks Vol.38 C6

10